

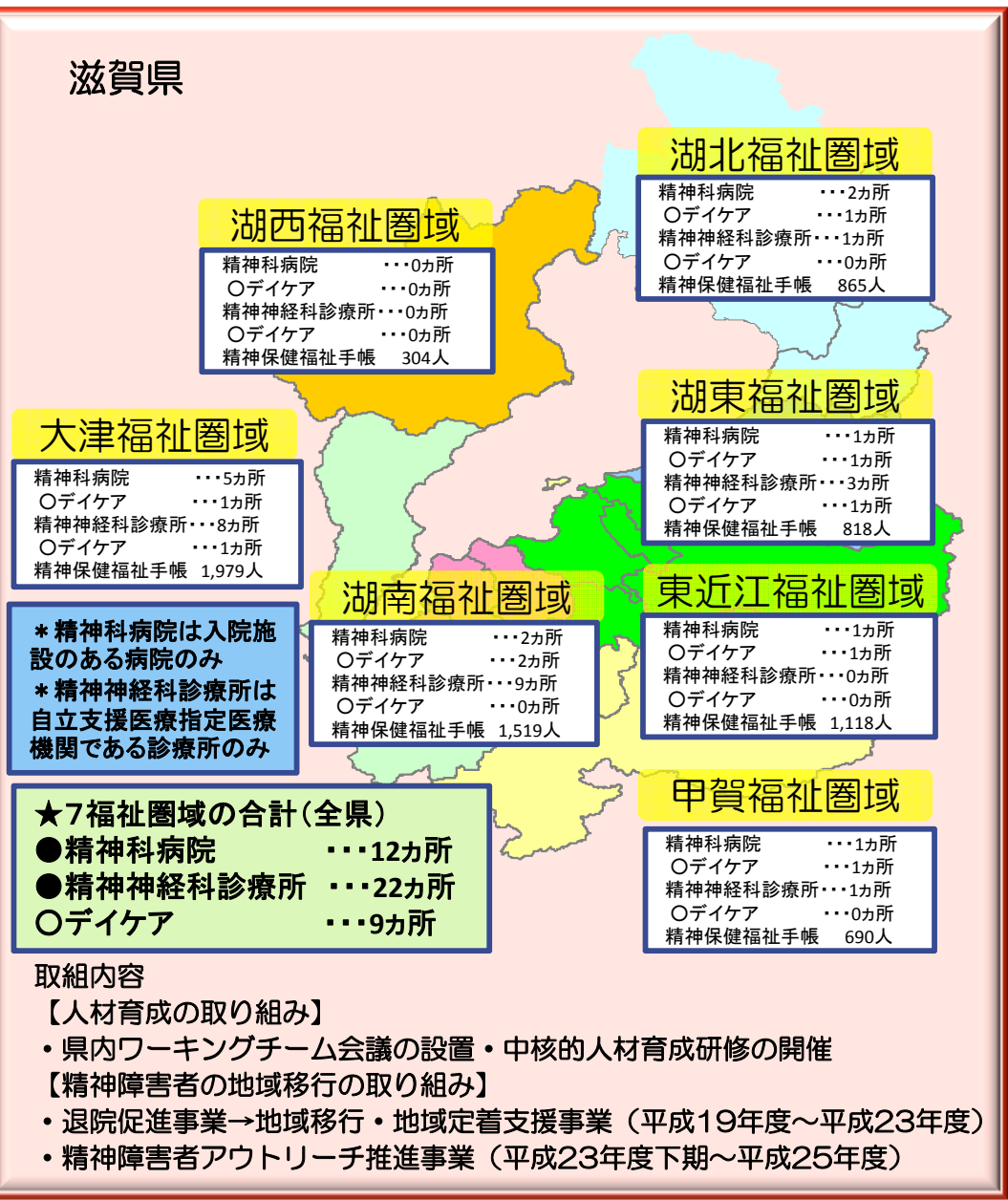
滋賀県

全国で2番目に病床数が少ない県 での地域移行 ～何を指すのか～

滋賀県は、全国で2番目に精神科病床数が少ない県であり、国の目指す病床削減を目的とせず、「長期入院者が望む暮らしを実現させるための地域の受け皿作り」を通して、退院から地域生活に向けた支援の体制整備を図ることを目的として実施してきた。

1 県の基礎情報

滋賀県



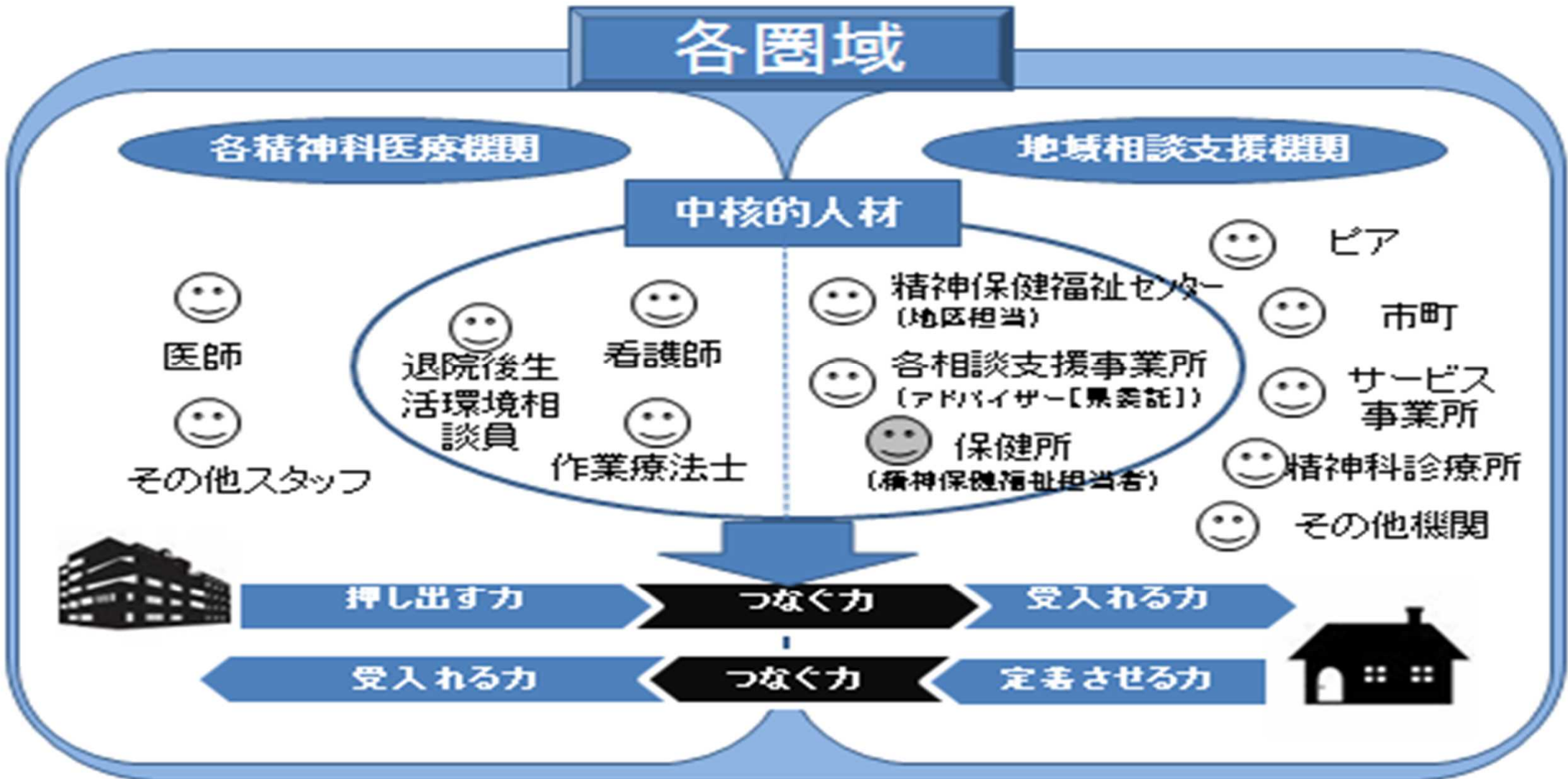
基本情報

圏域数	7カ所
人口	141万人
精神科病院の数	12病院
精神科病床数	2083床
入院精神障害者数	3か月未満：406人（20.4%）
	3か月以上1年未満：304人（15.3%）
	1年以上：1276人（64.3%）
退院率	入院後3か月時点：59.7%
	入院後1年時点：89.6%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：22事業所
	特定相談事業所数：78事業所
障害福祉サービスの利用状況	地域移行支援サービス：6人
	地域定着支援サービス：11人
保健所	7カ所
(自立支援)協議会	(人材育成について議論)：人材育成部会 (活動頻度)：8回/年
	(精神障害者の地域移行について議論)： 精神障害分野ネットワーク部会 (活動頻度)：12回/年
精神保健福祉審議会	平成25年度以降開催なし

※H27年11月時点(尚、「入院精神障害者数」「退院率」については、平成26年の630調査を基に作成しています。)

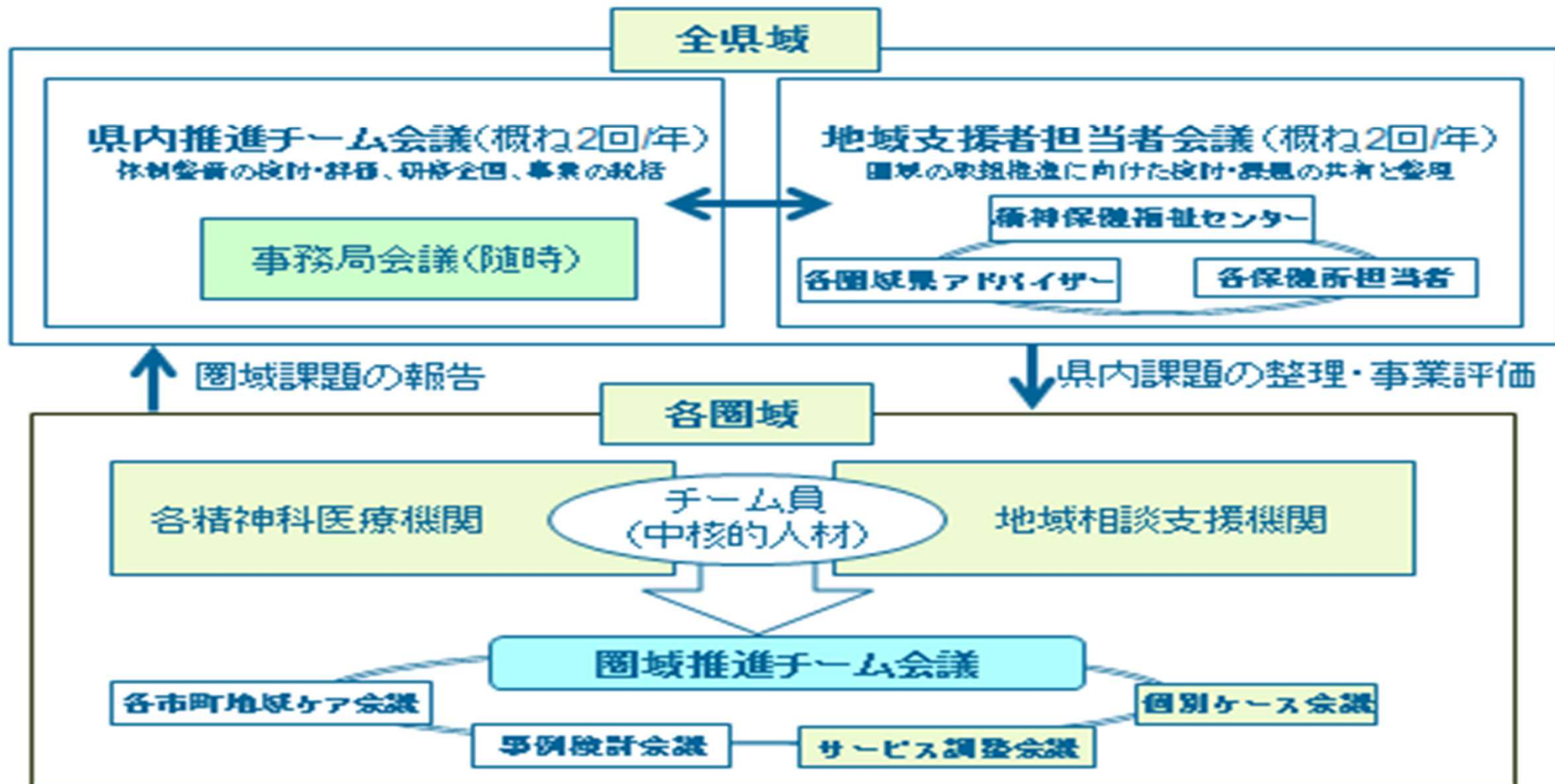
2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要①

滋賀の精神保健医療福祉チーム（中核的人材）イメージ図



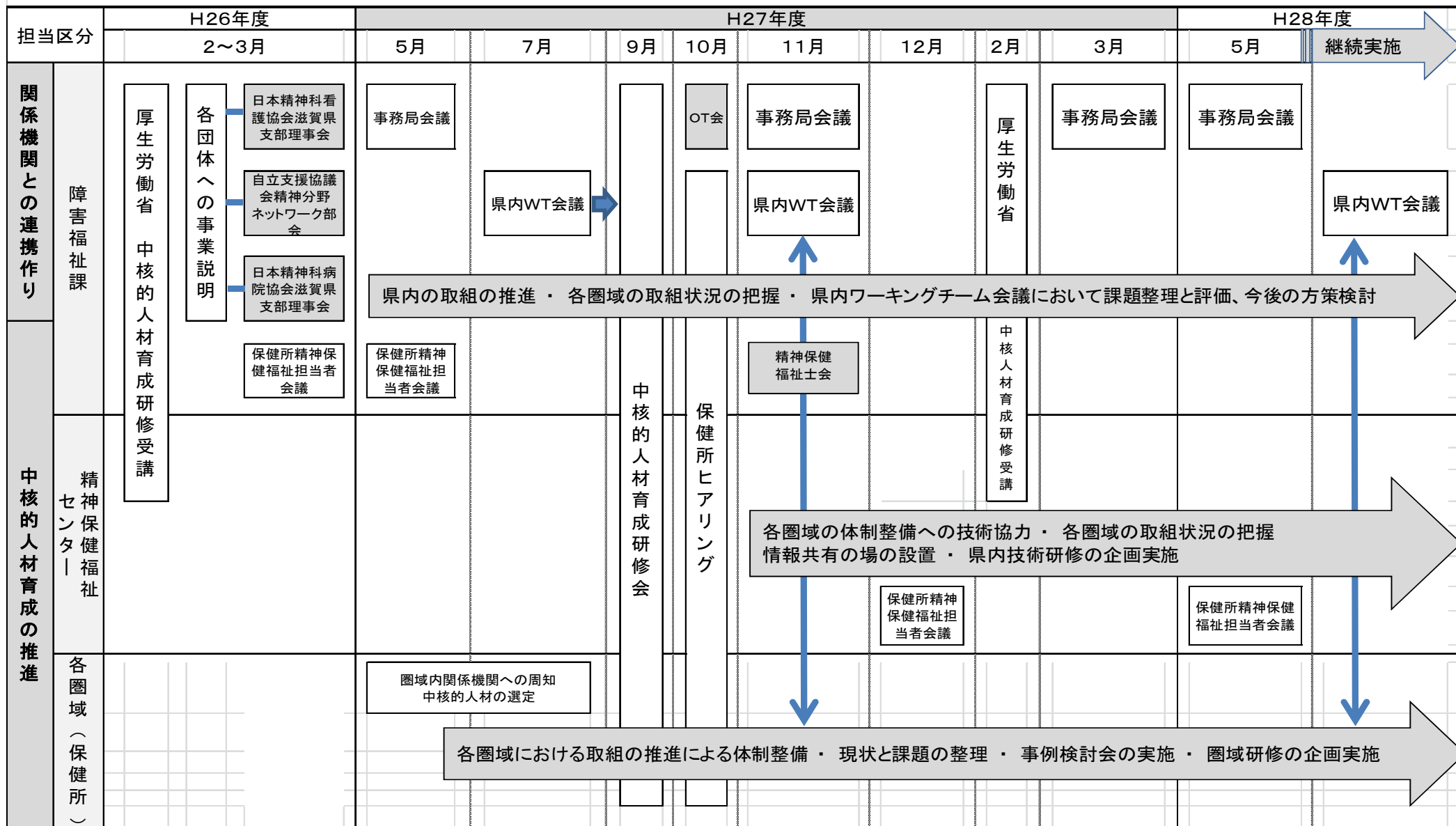
2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要②

滋賀のみんなで作る地域精神医療保健福祉チーム関連会議



3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

滋賀県医療と福祉の連携を推進する中核的人材育成事業全体図



4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

市町村支援について

各圏域で保健所が核となり、市町村を主体としたチームづくりを目指す

技術研修会の実施

- 多職種連携技術研修

事例検討会の開催

- 他圏域合同開催等実施の工夫
- 事例検討会の実践力の向上

成功事例を体験する！

- まずは1事例チーム支援による連携支援を実践する

地域移行の推進について

目標は、中核的人材育成の推進を通して、地域移行を含めた目指す地域の姿に向けた地域づくり

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール①

